臺灣日日新報　第一万四千五百三十九號　昭和十五年九月二日（月曜日）　（一）

首相葉山伺候

蒙古政府成立
一周年記念日
首都家長都市で盛大な祝典

新體制地方組織と
現行機構の二本建
早晩合理的に調整

新體制組織大綱試案
第二回會議で本格的審議

開戰一年 獨軍の戰果
擊沈船舶凡そ五百萬噸

獨空軍再び大攻勢
晝夜別なく倫敦襲撃

一日も間斷なく爆撃
倫敦の地下鐵も破壊

獨軍事財政專門團
近く佛印訪問
國防財政狀態を視察

浙贛線西部を爆撃
東江橋梁を海鷲爆砕

伯林に空襲警報
英機一機上空に接近

依然空襲繼續

獨軍の發表

英空軍省發表

米財務長官と加首相會見

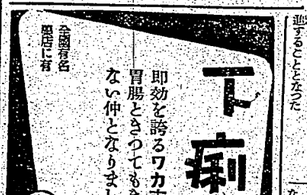
蘭の增産計畫
遂行に邁進

見えない飛行機
種々の塗料の研究發表

政府に報告
最高級の人物を國府人選派遣せん

電力懇談會

天無二日



中央指導部と軍部との關係調整

陸軍當局の意向

【東京一日發同盟】新體制運動の中樞機關たる中央指導部と軍部との關係を如何に調整すべきかに就いて陸軍當局では種種研究中であるが其の調整を圖るに當つては中央指導部の性格を眞に擧國一致の强力なる國民組織たらしめんとするの根本方針の下に軍部の如きも亦之に協力一體となつて新體制の確立に邁進すべきは勿論であるが大體次の如き點が考慮されてゐる

一、中央指導部の組織に軍部代表者を參加せしめ軍部の意向を反映せしめること

二、中央指導部と軍部との關係に就いては特に中央指導部と軍部との間に連絡機關を設けて連絡調整に當らしめること

三、主要國策の樹立に當つては中央指導部と軍部との間に緊密なる連絡を保持せしめること

四、動物と人間による運搬

五、人力による貨物運搬

六、航空路線の維持

動物と人間による 抗戰支那の戰時交通

【重慶一日發同盟】蔣政權側に於ては敵側に於ける交通機關の破壞に對抗し奥地に於ける交通機關の整備擴充に努めてゐるが其の概要次の如し

一、鐵道運輸狀態

イ、武漢、廣東の陷落以來、粵漢線は廣州に通ずる唯一の鐵道として目下株洲迄四百五十七粁が運行してゐるに過ぎない、浙、贛兩鐵道は未だ破壞、東段三百五十二粁を使用してゐるが敵側に遮斷されてゐる

ロ、浙、贛兩鐵道は運輸能力甚だ小なるものであるが、粵漢線は國際ルートとして重要視されてゐるので敵側は國內の凡ゆる運輸力を動員して國境迄運ばれた物資を奥地に運送しようとつとめてゐるが其の一部は敵側の手に渡つてゐる

ハ、隴海線は現在は運輸能力甚だ小なるものであるが、東段三百五十七粁が運行してゐるに過ぎない、浙、贛兩鐵道と共に重要ルートとして敵側に遮斷されてゐる

二、水陸聯運の方法

イ、武漢、廣東の陷落以來、粵漢線は廣州に通ずる唯一の鐵道として目下株洲迄四百五十七粁が運行してゐるに過ぎない、浙、贛兩鐵道と共に重要ルートとして敵側に遮斷されてゐる

ロ、浙、贛兩鐵道は運輸能力甚だ小なるものであるが、粵漢線は國際ルートとして重要視されてゐるので敵側は國內の凡ゆる運輸力を動員して國境迄運ばれた物資を奥地に運送しようとつとめてゐるが其の一部は敵側の手に渡つてゐる

ハ、隴海線は現在は運輸能力甚だ小なるものであるが、東段三百五十七粁が運行してゐるに過ぎない、浙、贛兩鐵道と共に重要ルートとして敵側に遮斷されてゐる

二、水陸聯運の方法

西南運輸路は山岳地帶が大部分を占め一般に勾配が急しいため水路は一部を除くの外殆んど舟艇の航行に適しないが小型木舟及び竹筏による運送の方法を用ひて僅かの運送を行つてゐる、此の運送方法は極めて原始的な方法を用ひて居るとされ敵側運輸當局方では殆んどの區間を水陸聯運機關によつてゐる

現在の水陸聯運機關は左の如くである

昆明と四川の納溪間七百七十四粁を昆明より四川の納溪に到る間に主として

（1）

（2）

（3）

ドナウ沿岸諸國會議

獨政府、ウインに招集

【ウイーン三十一日發同盟】ウイーン發獨の報によればハンガリア、ルーマニア兩國に關係にある獨ハンガリア、ルーマニア兩國の紛爭に關する會議をウインに招集することとなつた、ヴエルサイユ條約に依つてオーストリードに設立されたドナウ國際委員會は既設後も引續き內に納めたイツはこの國際機關以來の關係にあるドナウ河國際管理委員會と共に一方獨逸の勢力擴張に對抗する爲め獨逸の意嚮が此の會議に於ても强く反映するものと見られてゐる

【ブカレスト三十一日發同盟】ルーマニア政府は三十一日午前十時より閣議を開き獨逸の調停に依るルーマニア、ハンガリア兩國の紛爭解決に關する提案を審議した、ルーマニア側は獨逸の提案を受諾することに決定した

獨空軍英商船を爆撃

（中西本社伯林特置員發）

産業報國會

中央本部を設立

産業勞働界の新體制

【東京一日發同盟】勞働界に於ける新體制の確立に關しては既報の如く政府は勞働組合の解消を要求し之に代るに産業報國會の結成を以てしこれが實現に關し目下內務省社會局に於て具體的研究を進めてゐるが今般內務省社會局を中心として官民合同の產業報國會中央本部を設立することとなり一日內務省社會局第一會議室に於て第一回の準備委員會を開催した

獨軍司令部設置

ルーマニア承認

【ニューヨーク三十一日發同盟】レスト發に依ればルーマニアはワイーン會議に於いて國際的地位を强化せんとする目的を以てルーマニア國內に獨軍司令部を設置することを承認したものであると傳へられる

佛印に反亂勃發

（香港發）佛印總督府發表

【ワイフイ三十一日發同盟】佛印總督府の發表によれば本月初旬佛印北部ランソン地方に於て佛印人の一部が日本軍と結託して反亂を企圖したが佛印當局は直ちに之が鎭壓に乘出し反亂軍は潰滅的打撃を受けて敗走し現在に於ては全く平穩に歸してゐる

伊希國關係改善か

【東京特電】（ベルン發）伊希兩國間に於ては既報の如く兩國間に懸案となつてゐた諸問題に關し交渉を續けてゐたが今般兩國間に國交調整に關する協定が成立し兩國間の關係は一擧に改善されるに至つた

杜丹崩れず

（第十一回）

岩田專太郎畫　竹田敏彦作

（184）

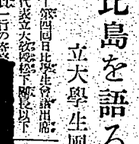
失つた美玉（下）

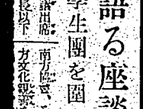
臺灣神社參拜も傷病兵慰問など

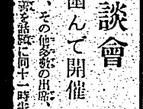
自肅自戒の一日

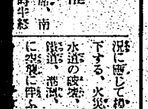
比島を語る座談會

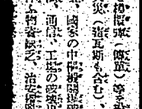
立大學生團が開催

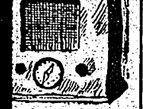


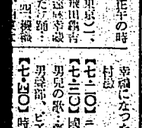


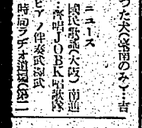


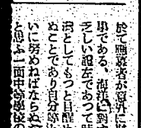


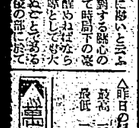


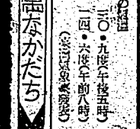


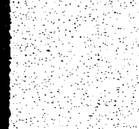


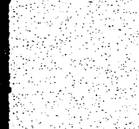












南進ソ聯の肚裏（上）

—惱みは常に不凍港—

トルコ遂に泣寢入か

トルコに對するソ聯の關心

ソ聯が自由獨立依然大關心を有する地トルコの存在は ソ聯としては無視することの出來ないものである 黑海ソ聯の喉も大きな急所の一つはあれ現狀大なる不滿を有してゐながら一方に於て不凍港を有するソ聯としては「地中海」迄いくにはトルコに對し關心を持せざるを得ない

この他にもソ聯が黑海を絕對に自己の內海とするにはルカン諸國に對抗することが必要であり、このためにもトルコを自己陣營に持つことが有利である、更にソ聯內に包含されてゐる諸民族の中には回敎徒が多數居住してゐるが、トルコは回敎國の盟主たる地位にあるが故に、ソ聯としてはトルコに對し關心を持たざるを得ない

ソ聯の關心はトルコに向けられたトルコの地理的位置並に最大の國際的地位にあり、イラン、イラク、アフガニスタンの三國と共に「サアダバッド條約」（通稱近東パクト）によつて密接に結ばれてをり、若しソ聯がこの國に對して何事かをなさんとすれば英佛トルコとの間にも條約が生じてゐるまたトルコは、アタテュルクの革命前歐洲第多少列強と關係にあつたが、昔日のオトマン帝國時代の榮華を囘復しつつあるとは言ふものの依然として世界第六の國家たるを失はず、世界革命を標榜の目的とするソ聯としては決して無關心であることの出來ない存在である

以上の如くソ聯のトルコに對する關心の重大なる所以であるが、トルコとの間にも問題がないではない

ソ聯の一部で近代ソ聯外交の指導者スターリンの獨裁下に於ては、トルコとの間に何事かなさんとするなら、まづ第一に「海峽問題」とカルス、アルダハン

ソ聯とトルコが相接する地點に於ては、現在迄一回も戰火を交へたことはないが、ソ聯がトルコに對し領土的野心を有してゐることは公然の秘密であつて、トルコ側に於ても、ソ聯の領土的野心に對しては、常に警戒の念を怠らなかつたのである

ソ聯がトルコに對して領土的野心を有してゐることは、ソ聯がトルコに對し「海峽問題」及「カルス、アルダハン」兩地方の割讓を要求したことによつても明瞭である

ソ聯がトルコに對し「海峽問題」を提起したのは一九二五年であつたが、ソ聯はトルコが經濟的に弱小であつた一九二一年三月モスクワに於てトルコとの間に「友好條約」を締結し、その第二條に於て「黑海ソ聯沿岸に關しては一九二一年三月十六日モスクワに於て締結されたものである、黑海の內海たるの性格に鑑み、それだけでは何の價値もないものである、地中海、紅海等、大西洋等へ出口を持たないソ聯としては「海峽問題」即ちトルコに對し關心を持たざるを得ない

ソ聯は黑海を持つてゐる、黑海は內に包含されてゐる諸國が、ソ聯の內海だが

(第三種郵便物認可)　昭和十五年九月二日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百三十九號　(三)

自粛自戒の一日

臺灣神社參拜や傷病兵慰問など

島都の興亞奉公日風景

帝都も自粛一色

あらゆる生活に新體制

市民總動員の武道を土産に

立體的防空戰

基隆市の第三種防空訓練

打てば響いて

全國各地に澎湃

滾刺たる新體制の胎動

十六團體の代表者參集して協議會

婦人の進む新方向を決定

阿部さんも汪氏も平常着姿で握手

歷史的會談終幕の日

釘で貪つた奸商

基隆署で十數名を檢擧

全國的な綜合訓練

東部區域の實施要綱

川村查閱官の總評

基隆市第三種防空訓練

比島を語る座談會

立大學生團を圍んで開催

官民特に前衛部

二千六百年奉祝式場工事

今秋十一月には竣工の運び

勇士晴れの歸還

人氣の的臺灣館

朝鮮博一日から開催

南方事情講習會

香取丸入港

箱根丸直ちに歸國

商人に自粛自戒を說く

懸賞論文海洋と臺灣

故岩永氏の一年祭

二年七ヶ月振りて中國總領事館開設

横濱の親仁會館内に

入船出船

けふの天氣

會葬御禮

茶代廃止

親切本位

山陽ホテル

台北門病院

貫く論評

新秩序と日本

相街道の復活

歐洲情勢の轉移と租界

英本土大空戰・其他

英國駐支軍の撤退

日蘇公使交換

國際外交半月

銃後なかだち

社會

廣告

臺灣日日新報　第一万四千五百三十九號　（第三種郵便物認可）
昭和十五年九月二日（月曜日）　（四）

臺日・臺灣縣合版

武勳の勇士應召解除
家族に迎へられ家路に

【○○電話】○○部隊の一部勇士は○日朝召集解除となり一同縣廳に於ける歡迎會の席上で感激の涙を流した

【新竹電話】桃園軌道會社では○○部隊の召集解除となり午前十一時十分桃園驛に歸着したので會社では重役を驛頭に出迎へ家族代表の祝ひ花束贈呈があつた

【○○電話】嬉々たる武勳を語る

歸還奉告祭
きのふ臺中神社で執行

【○○電話】今次事變に參加して勇ましく戰死を遂げた○○部隊○○○